

日興グラビティ・グローバル・ファンド

愛称: GG10+10

<投資対象20カ国の定期見直し>

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当ファンドでは、「アドバンス・マトリクス」に基づき、投資対象国20カ国の定期見直しを行ないました。その結果、先進国において、カナダに代わってノルウェーが上位国となりました。本レポートでは、新たな投資対象20カ国とともに、「グラビティ理論」を活用して決定した国別配分比率についてお知らせします。なお、今回の投資国の入れ替えは、11月中旬以降、順次進め、足元では既に完了しています。

投資対象20カ国  
(先進国10カ国+新興国10カ国)

定期見直し前

定期見直し後

先進国		新興国	
評価が高い上位10カ国		評価が高い上位10カ国	
1	米国	1	マレーシア
2	シンガポール	2	中国
3	スイス	3	チリ
4	スウェーデン	4	ポーランド
5	オーストラリア	5	ペルー
6	韓国	6	フィリピン
7	ドイツ	7	トルコ
8	日本	8	メキシコ
9	デンマーク	9	ロシア
10	カナダ	10	ハンガリー

先進国		新興国	
評価が高い上位10カ国		評価が高い上位10カ国	
1	シンガポール	1	マレーシア
2	米国	2	中国
3	スウェーデン	3	ポーランド
4	スイス	4	チリ
5	ドイツ	5	フィリピン
6	オーストラリア	6	ハンガリー
7	韓国	7	トルコ
8	日本	8	ロシア
9	ノルウェー	9	メキシコ
10	デンマーク	10	ペルー

※上記は、2016年11月現在の投資対象国であり、将来変更される場合があります。

# 定性判断により、魅力度の高い国の最終的な国別配分比率を引き上げ

当ファンドでは、投資対象ユニバースの中から、①「アドバンス・マトリクス」に基づき20カ国(先進国10カ国+新興国10カ国)を選定し、②「グラビティ理論」を活用して国別配分比率を決定する、といったプロセスによってポートフォリオを構築しています。なお、最終的な国別配分については、定性判断も考慮して行なっており、今回、投資対象20カ国の見直し後の国別配分比率の最終決定においても、定性判断に基づき、魅力度の高い国については、「グラビティ理論」を活用して算出した国別配分比率以上の比率を割り当てました。

## 国別配分比率 (2016年11月)

先進国	「グラビティ理論」を活用して算出した国別配分比率	定性判断後の最終的な国別配分比率	増減
1 米国	30.1%	<b>31.1%</b>	+1.0%
2 日本	7.6%	<b>10.6%</b>	+3.0%
3 スイス	6.9%	<b>6.9%</b>	+0.0%
4 ドイツ	6.3%	<b>6.3%</b>	+0.0%
5 ノルウェー	5.5%	<b>5.5%</b>	+0.0%
6 デンマーク	4.7%	<b>4.7%</b>	+0.0%
7 スウェーデン	4.3%	<b>4.3%</b>	+0.0%
8 オーストラリア	3.9%	<b>2.9%</b>	-1.0%
9 韓国	2.9%	<b>2.9%</b>	+0.0%
10 シンガポール	1.8%	<b>0.8%</b>	-1.0%
合計	74.0%	<b>76.0%</b>	+2.0%

新興国	「グラビティ理論」を活用して算出した国別配分比率	定性判断後の最終的な国別配分比率	増減
1 ロシア	4.2%	<b>6.2%</b>	+2.0%
2 中国	4.2%	<b>4.2%</b>	+0.0%
3 ベルギー	2.6%	<b>2.6%</b>	+0.0%
4 フィリピン	2.5%	<b>2.5%</b>	+0.0%
5 ポーランド	2.4%	<b>2.4%</b>	+0.0%
6 マレーシア	1.9%	<b>1.9%</b>	+0.0%
7 チリ	1.7%	<b>1.7%</b>	+0.0%
8 ハンガリー	1.6%	<b>1.6%</b>	+0.0%
9 トルコ	3.6%	<b>0.6%</b>	-3.0%
10 メキシコ	1.2%	<b>0.2%</b>	-1.0%
合計	26.0%	<b>24.0%</b>	-2.0%

- 比率は、当ファンドの投資対象である、「グローバル株式マザーファンド」における比率です。また、比率は、ポートフォリオ構築の際、目安とする比率であり、実際の投資比率とは異なる場合があります。
- 「グラビティ理論」を活用して算出した国別配分比率は、2016年11月の数値です。
- 「グラビティ理論」を活用して算出した国別配分比率および定性判断後の最終的な国別配分比率は、将来変更される場合があります。

※上記の比率は、四捨五入しておりますので、それを用いて計算すると誤差が生じる場合があります。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グラビティ・グローバル・ファンド(愛称:GG10+10)」へのご理解を高めたいとすることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

以下に、今回、定性判断により、最終的な国別配分比率を、「グラビティ理論」を活用して算出した比率より高めた主な国についてご紹介させていただきます。

投資国の状況について①

< 「グラビティ理論」を活用して算出した比率より **高めた** 主な国 >

先進国	日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バリュエーションからみて割安な株価水準にあると考えられ、厳しい環境下ながら企業収益も底堅い伸びを示しています。金融・財政政策により、マクロ環境は引き続き追い風となっています。</li> <li>■ 日本株式のモメンタムは、2016年、株価、業績の両面で悪化がみられました。しかしながら、2017年度にかけてEPS成長率が加速すると見込まれ、日本株式は引き続き、世界の中でも魅力的な投資先のひとつとして選好されると考えています。</li> </ul>
	米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当ファンドでは、マクロ見通しの改善と良好な株価モメンタムを背景に、米国株式に対してより強気の見通しを採用してきました。マクロ見通しが様々な面で徐々に改善する中、より重要視されるのは、企業収益見通しです。</li> <li>■ 4四半期連続で前年同期比マイナスとなっていた企業収益の伸びは、2016年7-9月期決算において、小幅ながらプラスに転じています。米ドル高や利上げなど、マクロ経済に対する懸念材料はあるものの、企業収益の好転は、トランプ次期大統領が公約した財政出動による収益押し上げ効果により今後も支えられると考えられます。</li> </ul>
新興国	ロシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 英国の国民投票においてEU(欧州連合)離脱が選択されたことを受け、欧州で政治的混乱が生じていること、また米国の次期大統領にトランプ氏が選出されたことはともに、ロシアにとって地政学面でも経済面でも最終的に有利に働く可能性が考えられます。</li> <li>■ 地政学的影響については現段階で予想することは困難ですが、経済的効果についてはより想定しやすく、ウクライナ危機に対応して2014年後半にロシアに科せられた制裁措置が解除される可能性が高まっています。</li> <li>■ ロシア株式は、バリュエーションからみて割安な株価水準にあり、株価モメンタムも良好と考えられます。原油価格も底を付けた可能性が高く、同国のマクロ経済は安定化の見込みが高まっているとみられます。</li> </ul>

以下に、今回、定性判断により、最終的な国別配分比率を、「グラビティ理論」を活用して算出した比率より低めた主な国について、ご紹介させていただきます。

投資国の状況について②

< 「グラビティ理論」を活用して算出した比率より **低めた** 主な国 >

先進国	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オーストラリア株式は、バリュエーションからみて、割高な株価水準にあると考えられます。また、円ベースでみた株価モメンタムも引き続き軟調です。</li> <li>■ 米ドルと米債券利回りが上昇基調となったことを受け、利回り差が縮小した高金利通貨への魅力が相対的に低くなったとみられるため、オーストラリアドルは逆風にさらされています。</li> <li>■ オーストラリア株式について、引き続き、慎重なスタンスを維持します。ただし、トランプ米次期大統領のもとで、インフラ投資が拡大すれば、鉱業大手や建設資材大手など一部にとってサポート要因になるとみられることから、アンダーウェイト幅を縮めました。</li> </ul>
新興国	トルコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当ファンドはトルコ株式に対して、引き続き非常に弱気な見方をしています。</li> <li>■ 7月のクーデター未遂の反動により、エルドアン大統領の権力は再び強化されました。その後、クーデターの試みを支援したとして何万人もの人々が投獄されたことなどを受け、同大統領のリーダーシップが疑問視されている状況です。同国では、国内の貯蓄や投資、および経済の伸びを改善するために、必要不可欠な構造改革をどのように実施していくのか、説得力のあるロードマップ(工程表)を示す必要があると考えられます。しかしながら、混乱が続くなか、そのような対応は、すべて放置される状況が続いています。</li> </ul>

## <ご参考①:当ファンドのポートフォリオ構築プロセス>

投資対象20カ国については原則として年1回、国別配分比率については原則として年2回、見直します。投資対象国の選定および国別配分比率については、日興アセットマネジメント アジア リミテッドからの助言を考慮して日興アセットマネジメントが決定します。



※上記は、2016年7月末時点のプロセスであり、将来変更される場合があります。  
※原則として、20カ国を投資対象国としますが、入れ替え時などに20カ国とならない場合があります。  
※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用を行なえない場合があります。

## <ご参考②:前回決定した国別配分比率との比較>

前回  
2016年5月

先進国	国別 配分比率	新興国	国別 配分比率
1 米国	23.9%	1 中国	6.3%
2 カナダ	10.0%	2 フィリピン	3.1%
3 日本	9.3%	3 ハンガリー	2.7%
4 スイス	8.2%	4 ポーランド	2.7%
5 ドイツ	7.1%	5 ペルー	2.5%
6 デンマーク	5.4%	6 ロシア	2.3%
7 スウェーデン	5.0%	7 チリ	1.8%
8 韓国	2.6%	8 マレーシア	1.2%
9 シンガポール	2.2%	9 トルコ	1.2%
10 オーストラリア	1.8%	10 メキシコ	0.7%
合計	75.5%	合計	24.5%

今回  
2016年11月

先進国	国別 配分比率	新興国	国別 配分比率
1 米国	31.1%	1 ロシア	6.2%
2 日本	10.6%	2 中国	4.2%
3 スイス	6.9%	3 ペルー	2.6%
4 ドイツ	6.3%	4 フィリピン	2.5%
5 ノルウェー	5.5%	5 ポーランド	2.4%
6 デンマーク	4.7%	6 マレーシア	1.9%
7 スウェーデン	4.3%	7 チリ	1.7%
8 オーストラリア	2.9%	8 ハンガリー	1.6%
9 韓国	2.9%	9 トルコ	0.6%
10 シンガポール	0.8%	10 メキシコ	0.2%
合計	76.0%	合計	24.0%

- 国別配分比率は、当ファンドの投資対象である、「グローバル株式マザーファンド」における比率です。また、比率は、ポートフォリオ構築の際、目安とする比率であり、実際の投資比率とは異なる場合があります。
- 国別配分比率は、将来変更される場合があります。

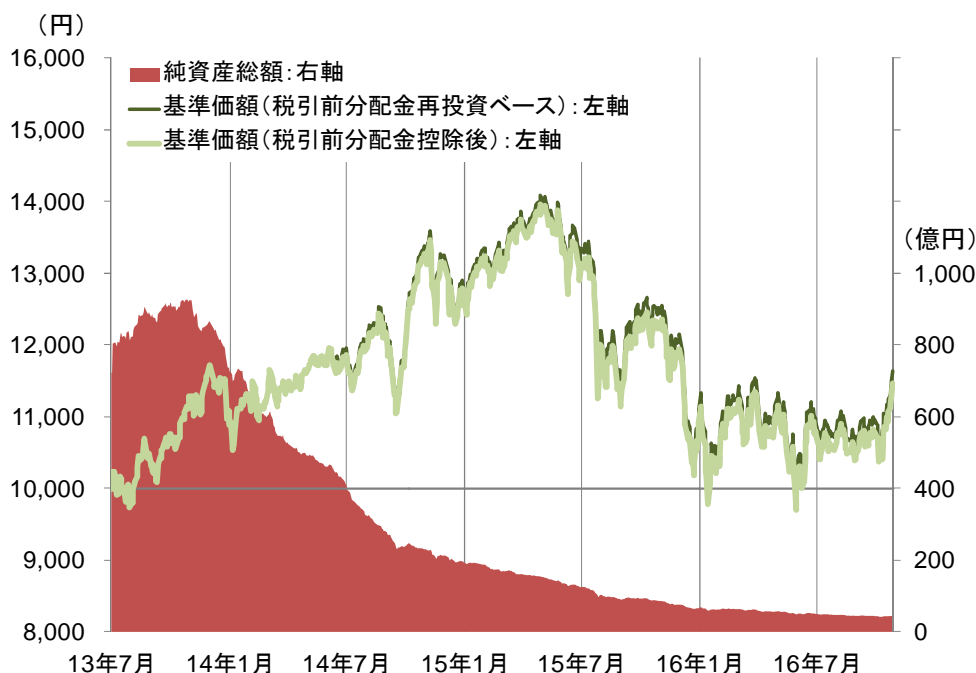
※上記の比率は、四捨五入しておりますので、それを用いて計算すると誤差が生じる場合があります。

※データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グラビティ・グローバル・ファンド(愛称:GG10+10)」へのご理解を高めたい  
いただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、  
当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# 「GG10+10」の運用状況

基準価額および純資産総額の推移  
(2013年7月31日(設定日)～2016年11月25日)



<基準価額>  
税引前分配金再投資ベース  
**11,640 円**

<基準価額>  
税引前分配金控除後  
**11,453 円**

<純資産総額>  
**45億円**  
(2016年11月25日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

## ポートフォリオの国別投資比率 (2016年10月末)

先進国		比率	新興国		比率
1	米国	23.7%	1	中国	7.1%
2	カナダ	10.1%	2	ハンガリー	3.0%
3	日本	9.9%	3	フィリピン	2.8%
4	スイス	7.9%	4	ポーランド	2.6%
5	ドイツ	7.1%	5	ベルー	2.5%
6	スウェーデン	4.8%	6	ロシア	2.5%
7	デンマーク	4.4%	7	チリ	1.9%
8	韓国	2.7%	8	マレーシア	1.1%
9	シンガポール	2.1%	9	トルコ	1.1%
10	オーストラリア	1.9%	10	メキシコ	0.7%
合計		<b>74.6%</b>	合計		<b>25.2%</b>

※マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。  
 ※上記の比率は、四捨五入しておりますので、それを用いて計算すると誤差が生じる場合があります。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グラビティ・グローバル・ファンド(愛称:GG10+10)」へのご理解を高めたいとすることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お申込みに際しての留意事項

### ■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式および株価指数先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、株式および株価指数先物取引にかかる権利の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】 【デリバティブリスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「日興グラビティ・グローバル・ファンド(愛称:GG10+10)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## ファンドの特色

1

世界経済のけん引役として、更なる経済発展が見込まれ、株価の成長が期待される20ヵ国を選定します。

2

投資対象国は、日興アセットマネジメント独自の評価ツールである「アドバンス・マトリクス」を用いて選定します。

3

国別配分比率は、日興アセットマネジメントが「グラビティ理論」を活用し、決定します。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用を行なえない場合があります。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] <a href="http://www.nikkoam.com/">http://www.nikkoam.com/</a> [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グラビティ・グローバル・ファンド(愛称:GG10+10)」へのご理解を高めたいとすることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日のいずれかに当たる場合には、購入のお申込みの受付は行ないません。 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2023年7月12日まで(2013年7月31日設定)
決算日	毎年7月12日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日のいずれかに当たる場合には、換金請求の受付は行ないません。 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率は、3.78%(税抜3.50%)を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.5768%(税抜1.46%)を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ 当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。